

2018年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	法学部 政治学科 3年（留学年次） 4年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 国立中山大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2018年 2月 24日 ～ 2019年 1月 17日 出国日 2018年 2月 22日 最終帰国日 2019年 2月 22日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前に比べて、人を人としてとらえることができるようになったと思う。国籍や人種にこだわらずフラットにもものを見る視点を養えた。

また、台湾での留学経験もそうだが、アジア圏のバックパッカー経験を通して、小さなことにこだわらないおおらかな姿勢を得たと思う。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

英語に関しては、日本にいる間にもう少し勉強しておけばよかったと思う。とくに文法や語彙力の点においてやっておけばよかった。発音や会話力などは、留学先で成長できるため、その基礎となる部分について、日本にいる間に取り組むべき。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

政治経済学部があるものの、学部生向けの英語で開講された授業が少ない。

教授たちは比較的外国人学生に対してもフレンドリーでありとてもよかった。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

海と山に面した、とても自然豊かなキャンパス。ただ野生の猿がいることは問題。施設も、古すぎず、全体的に整った印象。穏やかで落ち着きのあるキャンパス。交通に関しても特別、不便は感じなかった

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

交換留学生向けに週2回程度 中国語の講座が合計4時間開講されているが、それだけで中国語が話せるようになるとは思ってはいけない。ただしこれは、留学中の履修単位として設置されている。

そのほかに大学付属の語学学校があるため、必要に応じて申し込むことができる。費用や時間については、ホームページで確認。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

オフィスが全面的にサポートしてくれ、わからないこと、不安なことがあれば、聞くとすぐに対応してくれる。留学生向けに、多くのイベントやツアーを主催してくれ、台湾や大学を知る機会、友達を作る機会を提供してくれる。

モンキーツアーと呼ばれる、大学の山へのハイキングや、ヨット体験、ハロウィーンやクリスマスなど年のイベントごとにもパーティーがあり、一年を通してとても楽しく過ごせた。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

交換留学生は基本的に台湾の奨学金には応募できない。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

席をとるために、荷物を置いていても問題ない。自転車のカギをつけっぱなしにしてもとられない。とても平和な環境。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

地域の人や、大学のキャンパス、雰囲気すべてをとっても最高の大学。地元の方は、日本人ということもありとても親切でやさしかった。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、そ

の科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
中国外交政治	
中国政治経済	
韓国政治	
両岸関係	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮／アパート／ホームステイ／その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 3,500 元 、(日本円) 約 1万4千円

(3) 食事

学食・外食が主 (ドームにキッチンがなく、近くにスーパーがないため)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 15 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

野生のサルがいるところは問題。

ドームの近くに学食があり、食事には困らなかった。

駅まで徒歩の場合はトンネルを通らなければいけないと聞いていたが、それほど苦痛ではなかった。またバスなど、路線網がしっかりしているため交通の面でそれほど不便には思わなかった。

4. 費用について

(1) 学 費

学習院大学学費

(2) 渡航方法と金額

飛行機 (日本円) 片道約 15,000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・約 17,000 元 、(日本円) 約 7 万 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

送金：引き下ろしがスムーズ

ただ手数料を馬鹿にしてはいけない。

たまに、送金が滞ることも

(5)「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳
自炊ができないため、毎日外食だった。そのための食費。

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIG

(2) 保険料

200,000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

海外留学保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

現地に行って、いざ風邪をひくと、通訳などの手配に手が回らないため
あまり期待してはいけない。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

常備薬（吐き気止め・お胃腸薬など）台湾の薬の中には日本で認可されていないものもあり、
不安な場合は特に。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

日本食

(4) 持って行けば良かったと思う物

ファブリーズ

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

語学の勉強：語学の自習：大学の授業：予習復習

友人とご飯：パーティ

(2) 週末

友人とご飯：パーティー

大学の授業の課題：予習：復習

語学の勉強

市内観光

8. 後輩へのアドバイス等

がんばれ！たのしめ！

つらいときとか、差別に合うとき、欧米人になじめないときはあると思うが、みんながみんな意地悪なわけではない。人には人の付き合い方をして、楽しめ！

台湾人は特別、日本人にやさしい。

半面、付きまってくる人もいるため、距離感については「異国」であることを理解したうえで推しはかっていくことが大切。

国籍に関係なく、その場で出会ったすべての人が、かけがえのない出会いであるから、その瞬間瞬間を無駄にすることなくとなく楽しんでほしい。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

自分の人生の経験の中で、間違いなく最も大切な経験になると思う。

交換留学への参加に際して、部活動・ゼミ・アルバイトなど、多くのことを切り捨ててきたが、それでも行く価値があったと思う。留学先で何がしたいのか、何のために行くのかをはっきりさせるべき。目標を見失わずに。がんばれ。

台北とは違い、日常生活の中で日本語は全く聞こえてこない。台湾に留学をしたい、その理由が台湾の文化や、政治・語学に関心があるというものなら、高雄に来るべきである。